

株式会社 城南進学研究社（4720）

平成26年3月期 第2四半期 決算説明会

城南予備校

現役合格保証

城南コベッツ

成績保証のある個別指導



大学合格保証をマンツーマンで



小中学生向けWEB教材

代表取締役社長 下村 勝己

2013年 12月 6日

平成26年 3月期 第2四半期 決算報告

平成26年 3月期 業績予想と今後の課題

第2四半期 業績ハイライト ① 経営成績

- 生徒数の順調な伸びにより、売上高は前年比+193百万円
- 各利益は前年比+20%超、増収増益を達成

(百万円)	前2Q	予算	当2Q	前期比 増減率	予算比 達成率
売上高	2,640	2,904	2,833	+193 +7.3%	▲71 97.6%
営業利益	128	181	155	+27 +21.4%	▲26 85.6%
経常利益	147	201	178	+31 +21.0%	▲23 88.6%
四半期純利益	113	167	138	+25 +22.3%	▲29 82.6%

第2四半期 業績ハイライト ② 財政状態

- 総資産 5,441百万円、純資産4,050百万円に
- 自己資本比率は 74.5% に

(百万円)	前期末	当2Q	増減	比(%)
流動資産	1,781	1,865	+84	+4.7%
固定資産	3,579	3,575	▲4	▲0.1%
資産計	5,361	5,441	+80	+1.5%
流動負債	828	809	▲19	▲2.3%
固定負債	556	580	+24	+4.3%
負債計	1,385	1,390	+5	+0.4%
純資産	3,975	4,050	+75	+1.9%
負債・純資産計	5,361	5,441	+80	+1.5%

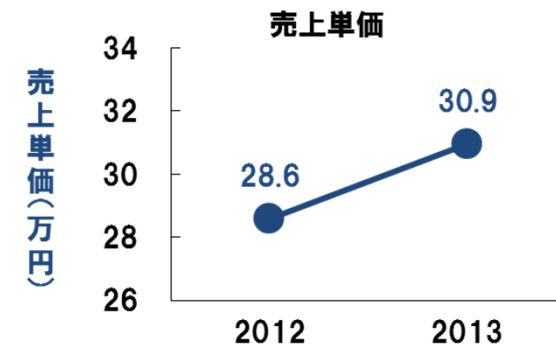
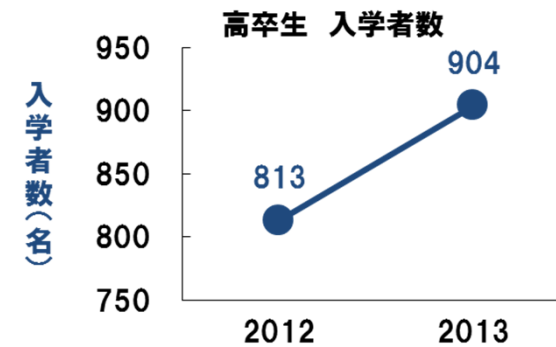
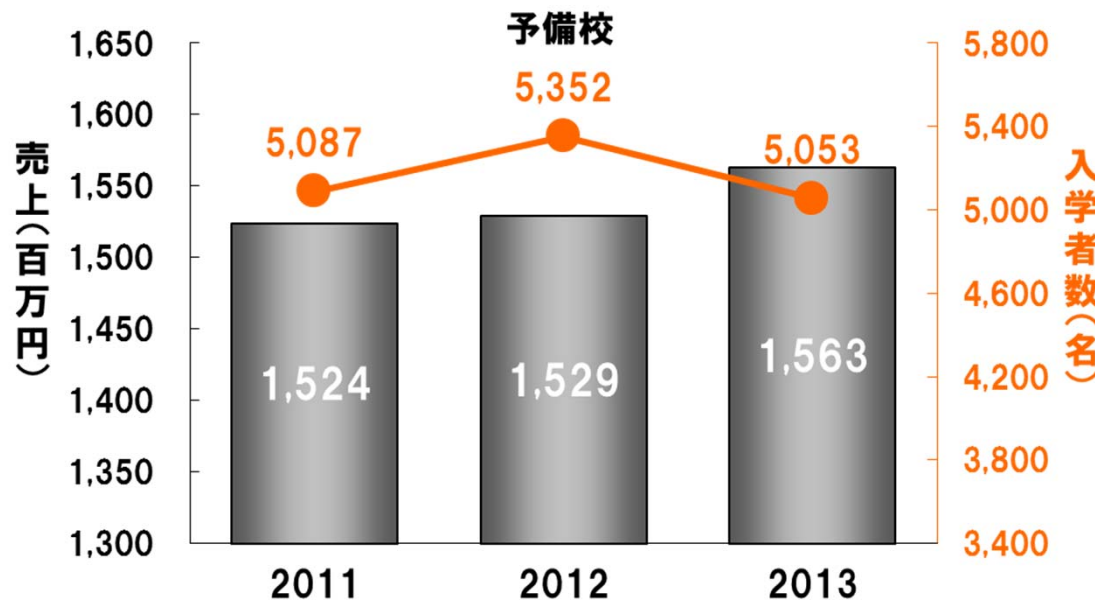
第2四半期 業績ハイライト ③ キャッシュフロー

- 四半期純利益計上などにより、営業活動によるキャッシュフローは91百万円の収入に
- 資金は前年同期比+77百万円

(百万円)	前2Q	当2Q	増減
営業活動CF	49	91	+42
投資活動CF	▲269	▲140	+129
財務活動CF	▲81	▲64	+17
現金及び現金同等物 期末残高	889	966	+77

第2四半期 業績の分析 ① 予備校部門

- 売上高は前期比+2.2%と継続的に増加
- 首都圏高3生の減少により生徒数は減少したが、高卒生増・単価増により売上増加

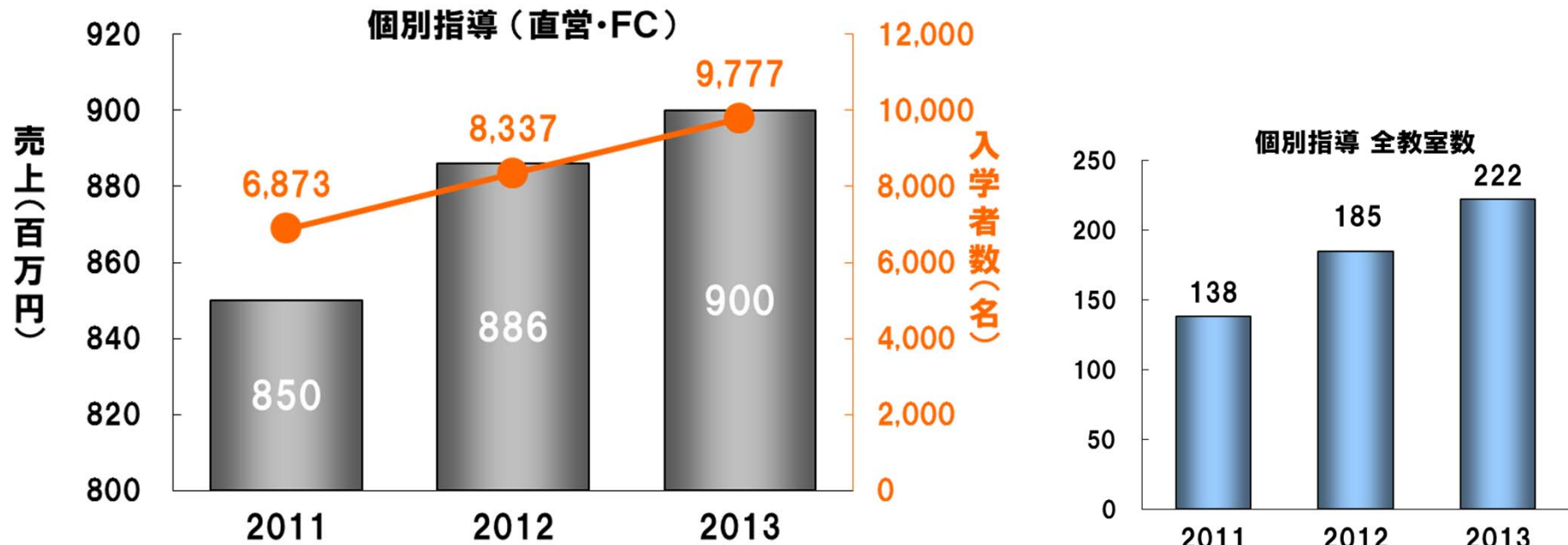


現役合格保証制度:

大学入試結果に満足せず、次年度も城南予備校において再挑戦する場合は、高卒部授業料を全額免除する制度

第2四半期 業績の分析 ② 個別指導部門

- 「+25点保証システム」(成績保証制度)のブランド確立により、**教室数・売上高は安定的に増加**
- **塾・予備校離れが加速する中、個別指導の需要は堅調**

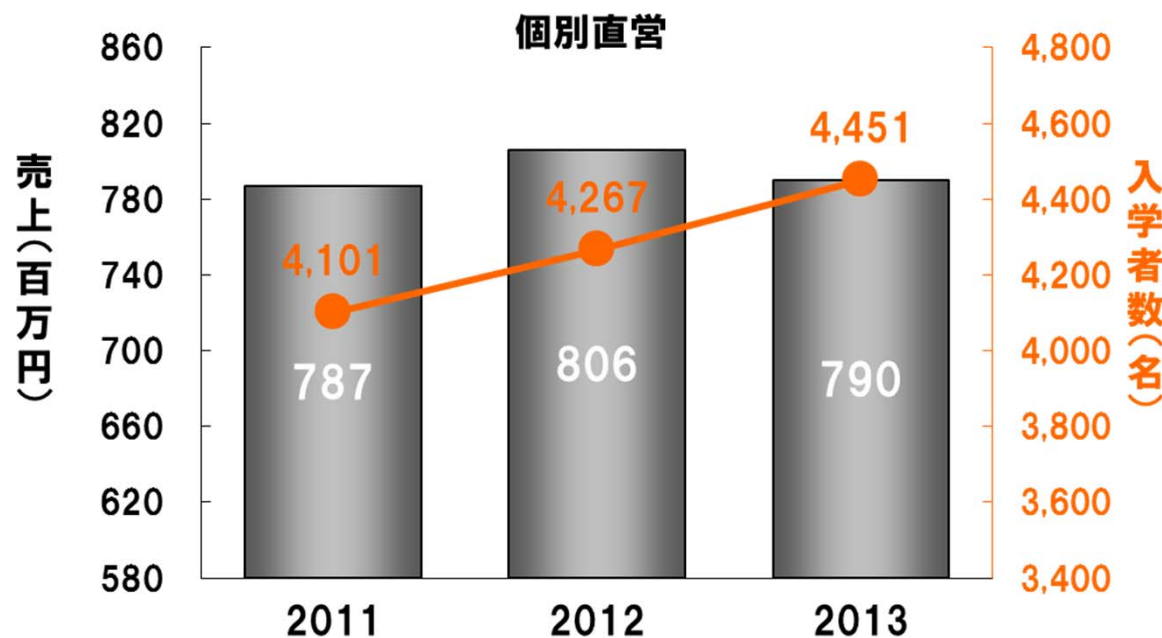


成績保証制度:

期間内に所定の点数が達成できなかった場合は、保証期間終了後の翌期間(4ヶ月間)の対象科目の通常授業料を全額無料とする制度

第2四半期 業績の分析 ③ 個別直営部門

- 生徒数は安定的に増加し、前期比+4.3%
- 小学生向けコース(ジュニアコース)を開始し、低学年集客を強化、長期顧客拡大の布石へ



小学生向け ジュニアコース開始

POINT
① 小学生がもっとも
集中できる授業時間

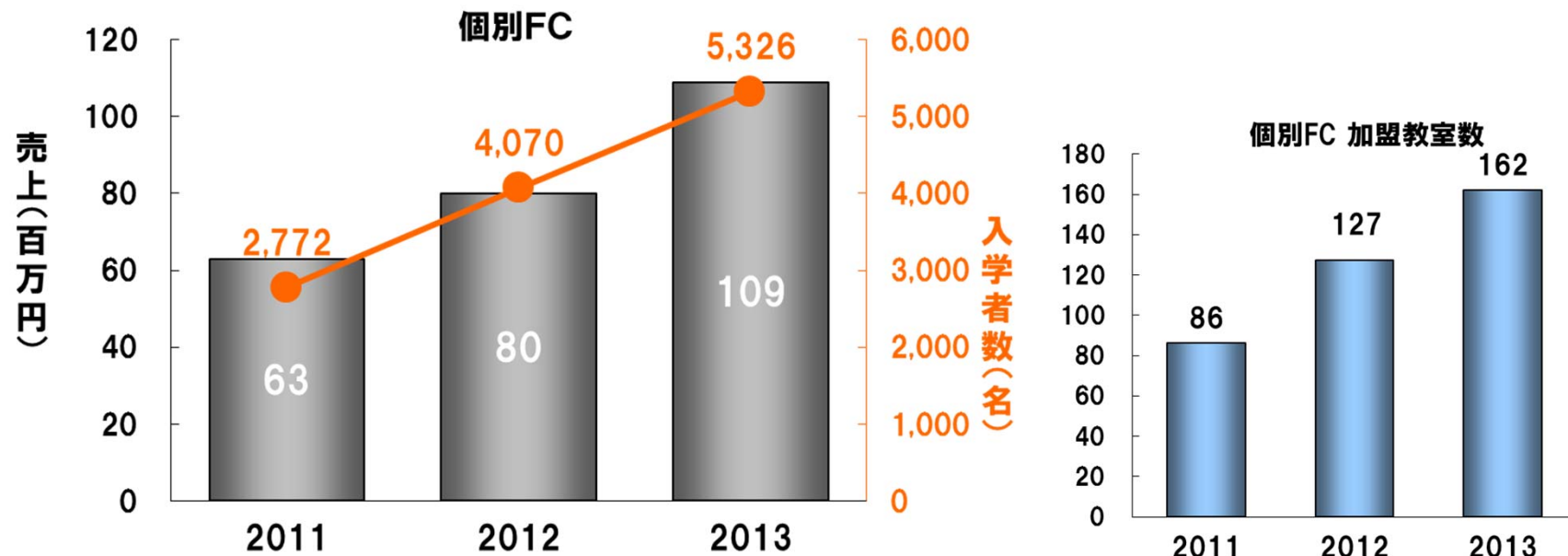


POINT
② 始めやすい・続けやすい
個別指導と料金設定



第2四半期 業績の分析 ④ 個別FC部門

- 全162教室開校(+27.6%)、生徒数は+30.9%に
- 前事業年度に開校した教室が軌道に乗り、単価・受講講座数も増加



第2四半期 業績の分析 個別指導教室数

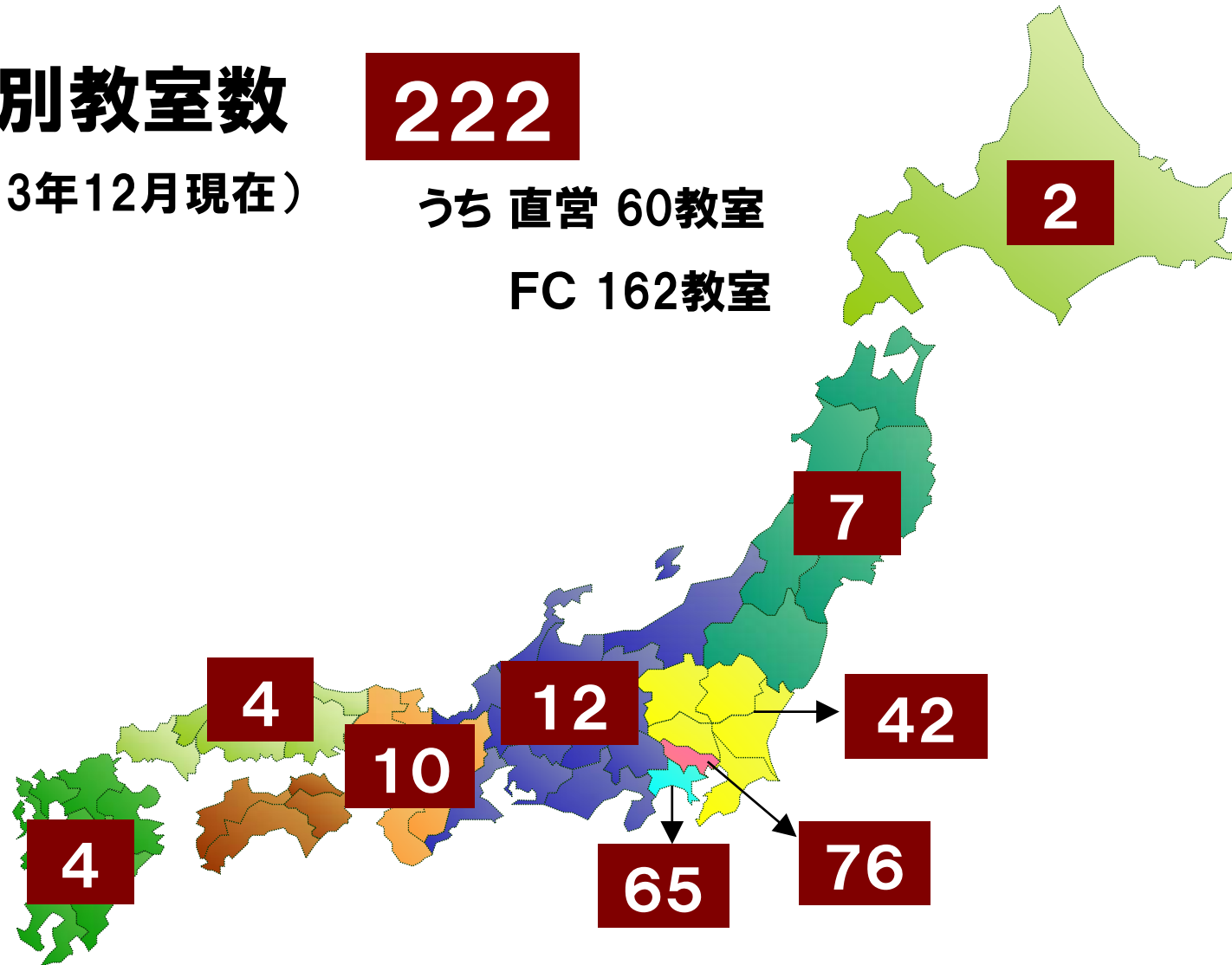
個別教室数

(2013年12月現在)

222

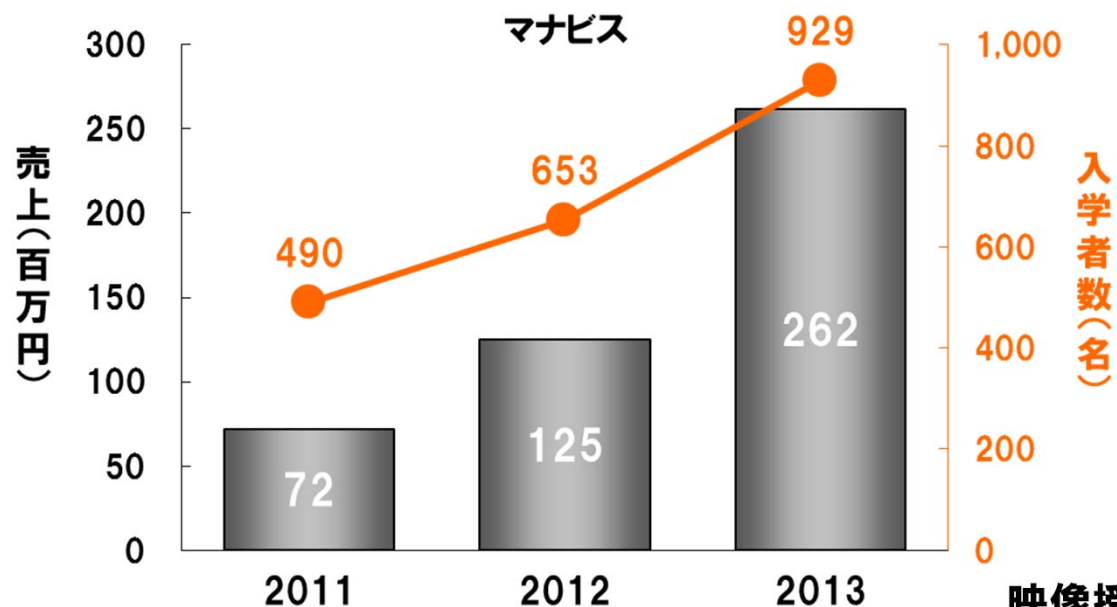
うち 直営 60教室

FC 162教室



第2四半期 業績の分析 ⑤ 河合塾マナビス 河合塾マナビス

- 2013年6月に新浦安校開校
- 映像授業への強いニーズに応え、生徒数・売上高は大幅に増加



注) マナビスの売上計上方法を前期末より変更しており、今期は前期に比べて上半期の売上が多くなる傾向にあります。

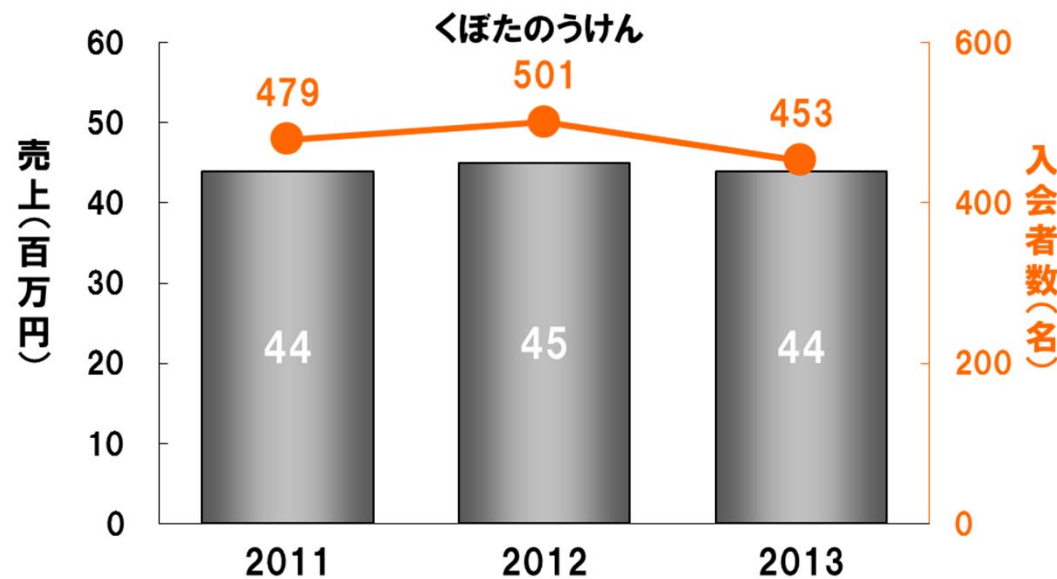


映像授業をビデオ・オン・デマンド形式で視聴
当校はフランチャイジーとして校舎を展開

第2四半期 業績の分析 ⑥ くぼたのうけん



- 久保田カヨ子夫人が実践した、賢い脳を育てる乳幼児教室
- 顧客を安定的に維持、9月には六本木にて講演会を実施

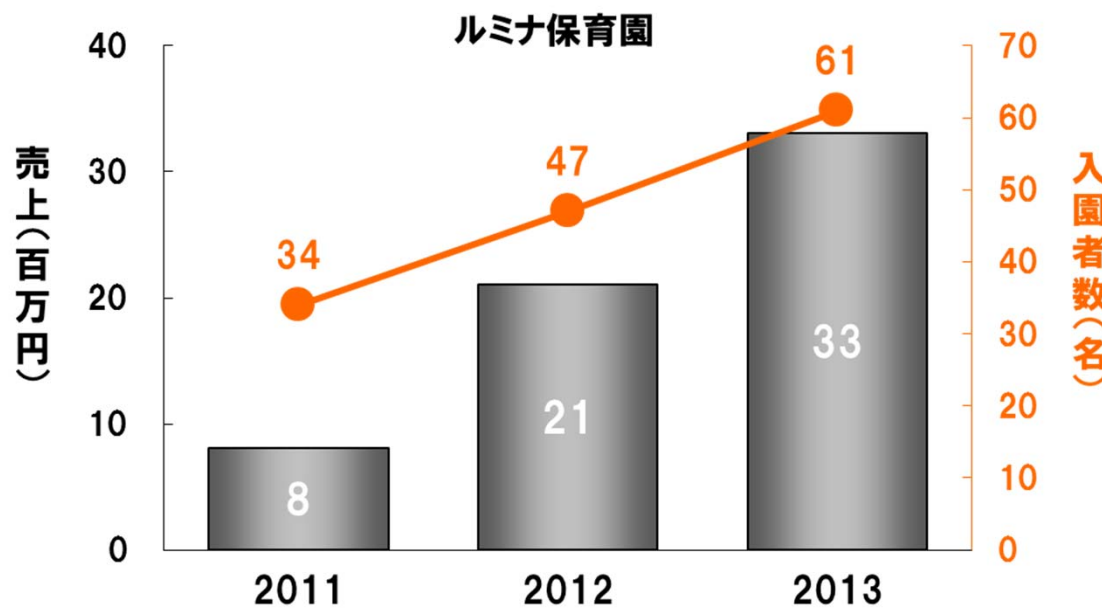


2013年9月8日、ラフォーレミュージアム六本木にて講演会を実施



第2四半期 業績の分析 ⑦ 城南ルミナ保育園

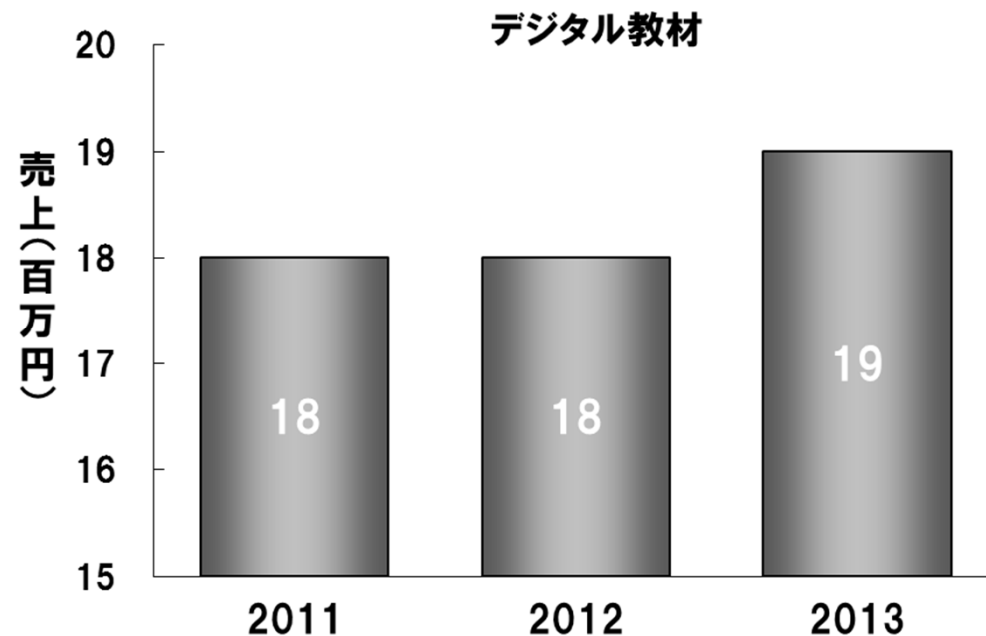
- 「くぼた式育脳法カリキュラム」を導入した保育園。2011年4月に東京都認証保育所として開設
- 入園者数は順調に増加し、地域の待機児童解消に貢献



第2四半期 業績の分析 ⑧ デジタル教材



- 城南マナビックス(小中学生向けWEB学習システム)、タブレット端末対応のくぼたWEBスクール
- 学習塾や海外団体などへの法人販売も順次拡大



第2四半期業績 部門別売上のまとめ

- 各事業とも、前年比較で堅調に推移
- マナビスは単価増と、新規校舎の生徒数が順調に伸びたため、売上増へ

(百万円)	前期	当期	増減	比(%)
予備校	1,529	1,563	+34	+2.2%
個別指導	886	900	+14	+1.6%
マナビス	125	262	+137	+109.6%
乳幼児教育	66	77	+11	+16.7%
デジタル教材	18	19	+1	+5.6%
その他	13	10	▲3	▲23.1%
<総計>	2,640	2,833	+193	+7.3%

平成26年 3月期 第2四半期 決算報告

平成26年 3月期 業績予想と今後の課題

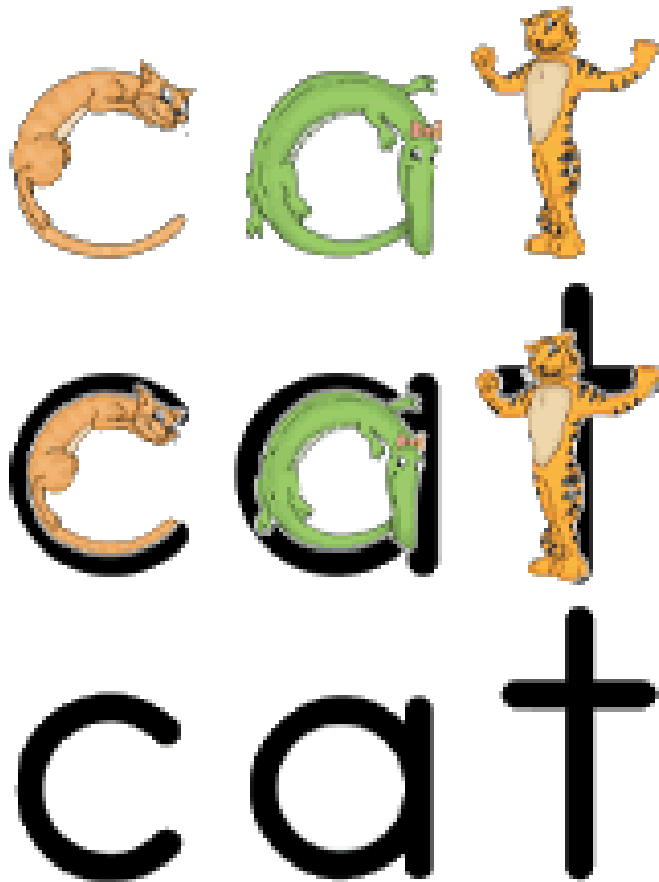
総合教育企業を目指して ～年齢層及び商圈のイメージ～



今期の課題 ① Zoo-phonics



今期の課題 ① Zoo-phonics



Zoo-phonicsとは、

30年前に米国で開発された、つづり字と音声の関係を規則化して教える教授法

Zoo-phonics 3つの特長

- 1・2歳の幼児から始められ、年齢とレベルに沿って段階的に英語力を伸ばす
- 「身体の動作ーボディ・シグナル」を取り入れ、遊び感覚で体系的に学習
- アルファベットは子供たちが大好きな26匹の動物たち

フォニックス・プログラムの効果検証テストで、170社中No.1プログラムに認定
(2001年、非営利の児童教育研究組織実施)

今期の課題 ① Zoo-phonics

乳幼児部門の「くぼたのうけん」及び小学生を対象とした事業とのシナジー効果を期待

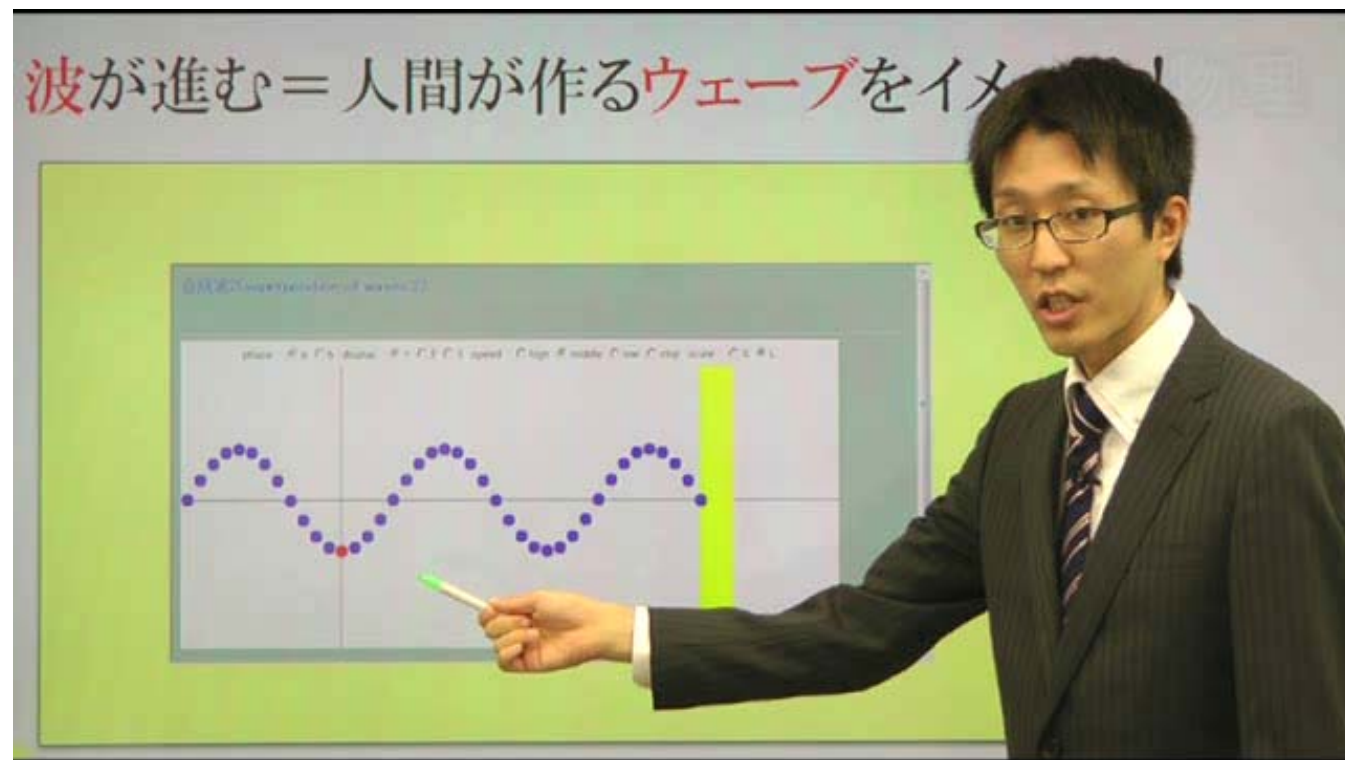
- 国内で既に15教室を展開中(直営・FC含む)
- 今後、既存校舎・教室内出店や、直営店開校へ
- 既存事業の英語教育強化など、シナジー効果を追求



電子黒板を効果的に使い、わかりやすく視覚に訴える
映像コンテンツを作成

➤ 全国の個別指導教室で活用し、城南ならではの強みに

電子黒板を用いた
映像授業

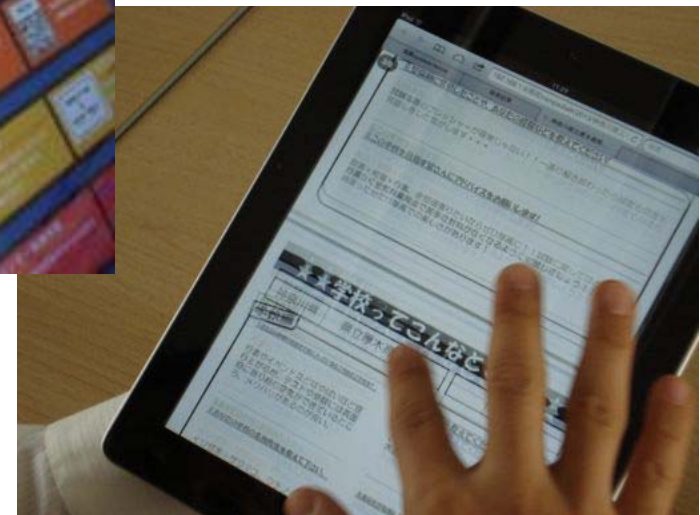


今期の課題 ② デジタル教材

タブレット端末の活用により、利便性を向上

- センター試験対策や予復習をタブレットで
- 教務・営業への活用により、効率性・訴求力アップ

タブレットで出欠登録



今期の課題 ③ 高収益型商品の開発

THE TANREN・合宿型特訓など、高収益型商品のメニュー開発・投入

- THE TANREN(鍛錬:確実に得点できるよう、演習に重点を置いた特訓授業)や、合宿型特訓などが好評
- 今まで学んできたテキスト・入試問題の総演習を通じて、実戦における得点力を最大限に高め、確固たる自信を生み出す



多様なニーズに応え、WEBコースを設置

- 11月13日、東京工業大学キャンパスにて『就活スタートセミナー』を実施、約150名が参加
- 10月WEBスクールを開校、オンラインで就活支援

11/13 東工大セミナーを実施



就活塾 WEBスクール



平成26年3月期 部門別売上〔連結〕

- 当期よりZoo-phonicsとの連結決算を開始
- 既存事業はTHE TANREN・合宿型特訓など高収益商品の導入により、売上の安定を目指す

(百万円)	前期	当期	増減	比(%)
予備校	2,801	2,915	+113	+4.0%
個別直営	1,745	1,813	+68	+3.9%
個別FC	223	277	+54	+24.4%
マナビス	294	447	+152	+51.9%
乳幼児教育	144	166	+21	+14.8%
デジタル教材	38	38	0	0.0%
その他	40	54	+14	+35.9%
Zoo-phonics	-	102	+102	-
<総計>	5,288	5,815	+527	+10.0%

平成26年3月期 業績予想〔連結〕

- 本格的な乳幼児・児童英語教育への参入の途を開き、シナジー効果の発揮を期待
- 前期比売上高+10%、営業利益+85.5%の見込み

(百万円)	前期	当期	前期比
売上高	5,288	5,815	+527 +10.0%
営業利益	166	308	+142 +85.5%
経常利益	223	357	+134 +60.1%
当期純利益	174	289	+115 +66.1%

利益還元

平成26年3月期は1株8円の期末配当予定

	中間配当 (円 銭)	期末配当 (円 銭)	配当 計 (円 銭)	配当性向 (%)
H25年3月期	0.00	8.00	8.00	37.0
H26年3月期	0.00	8.00	8.00	22.3

新中期経営計画策定について

現在、新たな中期経営計画を策定中

- 全社的な議論を踏まえ、高収益体質と確固たる成長路線を描く新たな計画を策定中
- 乳幼児教育や英語教育に重点を置くなど、社会環境の変化に応じた成長戦略を推進
- 次回の決算説明会にて公開予定

IRお問い合わせ先

株式会社 城南進学研究社
取締役管理本部長:杉山 幸広
TEL:044 (246) 1951
e-mail:info@johnan.co.jp

本資料は、平成26年3月期第2四半期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。本資料は平成25年12月6日現在のデータに基づいて作成されています。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証し又は約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。